

やつおもて

2025 No. 46 (1月号)

編集発行: 和田まちづくりセンター

協力: 和田まちづくりセンター運営推進委員

電話: 45-1918

E-mail: wada-k@ph-hamada.jp

～和田地区いろいろ見て歩く記～

おしくら

まんじゅう～

おされて

なくな～



つぬです!



明けましておめでとうございます。みなさんは、どのようなお正月を過ごしておられますか? 今年もみなさんの笑顔にたくさん出会えますように! どうぞ、よろしくお願いいたします! (つぬ)

小学生人権標語テスト入選作品

きみの声 わたしの心に 花がさく

『和田地区の歴史コーナー』

和田地区の地蔵紹介 ⑦

【ひび切れ地蔵】

(柏尾谷)



このお地蔵さんは名前のとおり、ひびやあかぎれにご利益があると伝えられています。

お参りするときは、小麦粉を水に溶かして、それをお地蔵さんに塗り付けながら願を掛けます。

和田の歴史といいつたえ
「防六をあおぎて」佐伯充男著参照

ウィムセット家

皆さま、明けましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしくお願いいたします。
さて、去年は私たち家族にとって忘れられない日本旅行（和田にも帰りました）をしましたので、その様子をお伝えします。



9月27日から2週間、家族4人で念願だった日本帰国をした私たちです。滞在中は、東京で妹と合流し、テーマパークやバスツアーなどを堪能し、大阪、京都を訪れ、その後に広島、宮島、父の待つ和田…へと非常に内容の濃い時間を過ごしました。



和田では、まちづくりセンターへおじゃました際、曾祖父母が営んでいたお店の写真など、私でさえ今まで見たことのなかった古い塚崎商店の様子を見ることができ、息子たちがとても感激していました。



【昭和11年10月 右より2番目の方が塚崎店主】

日本

へ



行

く!

また、久しぶりにお墓参りもでき、ご先祖様たちへアメリカの家族を紹介することができ本当に良かったです。



旅行中には、お寿司、お好み焼き、ラーメンなど美味しい食べ物を楽しみましたし、どこへ行ってもゴミ一つ落ちていなく綺麗でしたし、なんと言っても出会った日本人の方々が親切で優しかったことを特に夫が感心していました。



文・写真 教子ウィムセット

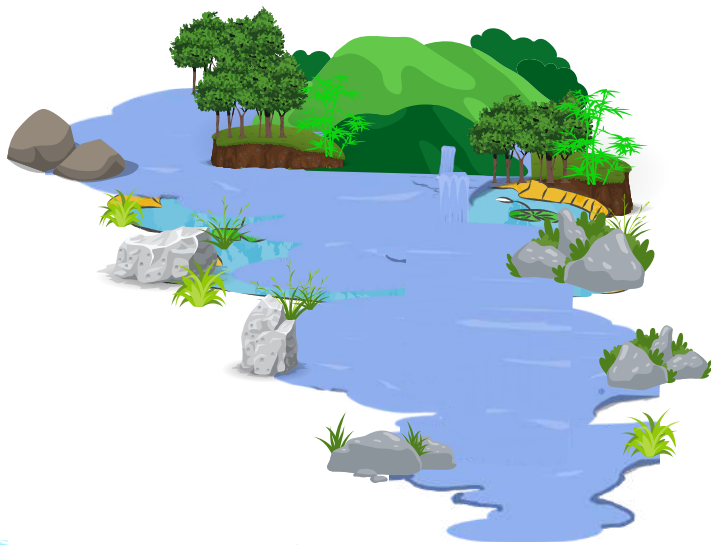


今では、次はいつ日本へ行くの？としょっちゅう聞いてくる息子たちですが、近い将来、また4人で日本へ、和田へ遊びに行きたいと思います。今回こんなにも素晴らしい思い出作りができたことは、日本の家族や友達、皆さまのおかげだと思います。本当にどうもありがとうございました！



教子ウィムセットの海外便りとは…

教子ウィムセットさんは、和田町塚崎育生さんの次女で、現在テネシー州にお住まいです。海外の行事や暮らしの様子などを文章や写真で紹介していただいています。これからも、日本と異なる文化をどうぞお楽しみ下さい。



肛門ガッパ

第3話

文・絵 佐々岡健次



前回のお話は…

金城図書館で見つけた、不思議な地名「肛門」。詳しく読むと、親分のために人間の肛門を100個を集めるカップパの話があった。

「その場所に行ってみたい」一心で美又に向かう。やっと教えてもらったその場所を、心躍らせ目指す…というところでしたね。では、続きをどーぞ！

見つけた！

美又口から美又への道を下ると、やがて加古屋川を左に見て田代城トンネルに入るが川は左にカーブして少々深みを作って淵となっている。そこを肛門淵といっているが、別に肛門だからと云って臭い訳ではない…。

現在は

今、看板も作られ「ウォーキングコース」になっている。その淵に山からの清水が流れ落ちている。もしかしたら、ここに水車小屋もあったんじゃないかと思わせる所だった。(実際、私の妖怪絵には水車小屋も描いている。)



そのうち…

後日、その近くの兄さん姉さんに聞くとよくあの肛門で泳いだと云う。今の世の中に「肛門」と云う所があること自体面白く、この話が永遠に語り継がれる事を祈るばかりです。そのうち「あの肛門で、皆で泳ごう」というイベントを作りたい。

次回は

この次は、このカップパの親分の話になります。お楽しみに！

佐々岡健次さん



和田地区本郷在住。

地域の伝承や伝説を詳細に調べ、得意の絵や文章で紹介して下さっています。まちづくりセンター便りキャラクター「つぬちゃん」の作者でもあります。

